

卓 話

平成 22 年 9 月 7 日

『青少年育成について』

地区青少年育成委員会委員長
中瀬弾正様

わが 2630 地区の青少年育成委員会の目標は「講師派遣」と「職場体験」の実施を各クラブに広げることです。

この活動は日本のガバナー会が 7～8 年前に国のキャリア教育政策を後押しすべく青少年育成委員会の設置を提唱したのが始まりです。



今の社会は「家庭の団らん」つまり「家族」というものの、また「地域社会」の消滅によっていわゆる子どもが人間として社会で生きていくための基本的なマナーや躰がなされないまま大人になっていく。こういう社会になったのは文明の発達、つまり自動車、テレビ、更には携帯電話などに依存するようになり、以前のような人間同士の温かい結びつきが無くなり、他人や社会を気遣うことなく孤独に、自分本位に生きていることも大きな原因の一つです。

このように抵抗しえない大きな流れの中で我々大人ばかりがその負の責任を負うこともありませんが、このまま座視すべきではありません。我々はロータリアンとして今こそこで立ち上がらなければなりません。この大きな流れに対抗するには我々の力は微々たるものかもしれないが、一つの突破口として「講師派遣」「職場体験」を実施し、子どもたちに仕事の辛さ、喜びあるいは「人生」というものを伝えながら、子どもたちとともに我々大人も一緒に学び成長しあっていこうではありませんか。

「講師派遣」でも「職場体験」でも子どもたちにいかに語るか、対処するか、我々も大いに考え勉強しなければなりません。これは我々「大人の成長」につながると確信します。

まずは教育委員会や中学校とコンタクトを取ることから始め、「講師派遣」「職場体験」事業を実施して頂きたいと思います。予算も必要なく、やろうと思ったら必ず出来る事業です。

多くのロータリークラブが実施に踏み切ることを大いに期待したいと思います。